



入院後の新規褥瘡発生率

褥瘡予防対策は提供されるべき医療の中でも非常に重要な項目であり、特に高齢者の入院の多い当院では必須の項目といえます。褥瘡の予防には除圧管理から栄養管理まで多岐に渡るケアが必要とされ、チーム医療が試される分野ともいえます。写真は院内の褥瘡対策チームが褥瘡回診を行っている様子です。当院では新規の褥瘡の発生を予防し、既存の褥瘡を改善させる為、褥瘡対策委員会を設け入院時と週に一度の褥瘡回診・評価を全入院患者対象に行っております。

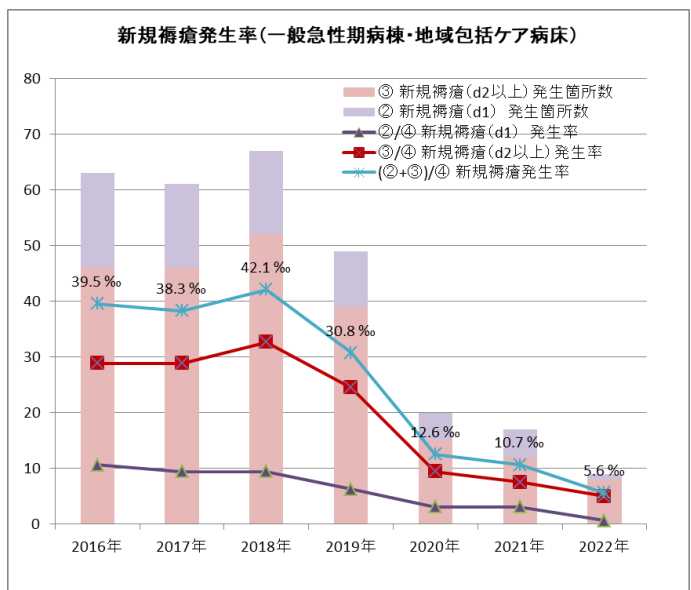
新規褥瘡患者数

分子	内、入院後に発生した褥瘡の部位数
分母	新入院患者数+前月最終在院患者数

表示：月平均

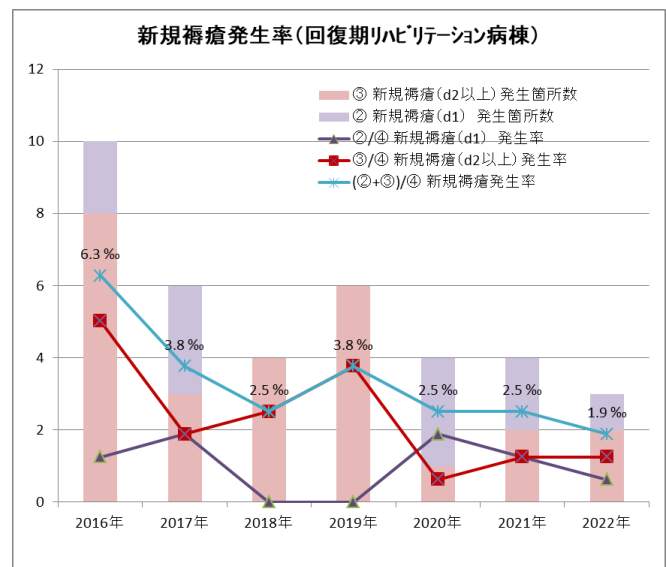
一般急性期病棟・地域包括ケア病床		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
①	新規褥瘡発生患者数	50	45	47	37	21	16	9
②	新規褥瘡(d1)発生箇所数	17	15	15	10	5	5	1
③	新規褥瘡(d2以上)発生箇所数	46	46	52	39	15	12	8
②+③	新規褥瘡発生箇所数	63	61	67	49	20	17	9
①/④	新規褥瘡患者発生率	31 %	31 %	34 %	25 %	17 %	9 %	7 %
②/④	新規褥瘡(d1)発生率	10.7 %	9.4 %	9.4 %	6.3 %	3.1 %	3.1 %	0.6 %
③/④	新規褥瘡(d2以上)発生率	28.9 %	28.9 %	32.6 %	24.5 %	9.4 %	7.5 %	5.0 %
(②+③)/④	新規褥瘡発生率	39.5 %	38.3 %	42.1 %	30.8 %	12.6 %	10.7 %	5.6 %
④	延べ入院日数	15932	14305	13974	14627	12521	17583	12405

一般病棟では、新規褥瘡発生率・件数（全新規褥瘡箇所数および D2 以上の新規褥瘡箇所数）ともに減少しました。



回復期病床		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
①	新規褥瘡発生患者数	7	3	2	3	4	3	3
②	新規褥瘡(d1)発生箇所数	2	3	0	0	3	2	1
③	新規褥瘡(d2以上)発生箇所数	8	3	4	6	1	2	2
②+③	新規褥瘡発生箇所数	10	6	4	6	4	4	3
①/④	新規褥瘡患者発生率	5 ‰	2 ‰	2 ‰	2 ‰	3 ‰	3 ‰	3 ‰
②/④	新規褥瘡(d1)発生率	1.3 ‰	1.9 ‰	0.0 ‰	0.0 ‰	1.9 ‰	1.3 ‰	0.6 ‰
③/④	新規褥瘡(d2以上)発生率	5.0 ‰	1.9 ‰	2.5 ‰	3.8 ‰	0.6 ‰	1.3 ‰	1.3 ‰
(②+③)/④	新規褥瘡発生率	6.3 ‰	3.8 ‰	2.5 ‰	3.8 ‰	2.5 ‰	2.5 ‰	1.9 ‰
④	延べ入院日数	13021	12539	12872	12520	11767	8582	11045

回復期リハビリテーション病棟では、大きな変化はありませんでした。



病院全体		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
①	新規褥瘡発生患者数	57	48	49	40	25	19	12
②	新規褥瘡(d1)発生箇所数	19	18	15	10	8	7	2
③	新規褥瘡(d2以上)発生箇所数	54	49	56	45	16	14	10
②+③	新規褥瘡発生箇所数	73	67	71	55	24	21	12
①/④	新規褥瘡患者発生率	20 ‰	18 ‰	18 ‰	15 ‰	10 ‰	7 ‰	5 ‰
②/④	新規褥瘡(d1)発生率	6.6 ‰	6.7 ‰	5.6 ‰	3.7 ‰	3.3 ‰	2.7 ‰	0.9 ‰
③/④	新規褥瘡(d2以上)発生率	18.7 ‰	18.3 ‰	20.9 ‰	16.6 ‰	6.6 ‰	5.4 ‰	4.3 ‰
(②+③)/④	新規褥瘡発生率	25.2 ‰	25.0 ‰	26.4 ‰	20.3 ‰	9.9 ‰	8.0 ‰	5.1 ‰
④	延べ入院日数	28953	26844	26846	27147	24288	26165	23450

結果、病院全体として褥瘡発生件数・率は、減少傾向にあります。

